



春 楡



令和6年12月
学校だより 第9号
富山市立楡原中学校
〒939-2184 富山市楡原 405
TEL 485-2014 FAX 485-2250
(学校メール)

nireharachu@city.toyama.lg.jp

「自分の将来について考える冬休みに」 校長 伊東和也

生徒たちは明日からの冬休みを心待ちにしているようです。

冬休みは、クリスマス・大晦日・お正月と家庭での大きな行事が連続してあります。普段慌ただしい学校生活を送っている生徒たちにとって、ほっと一息つける家庭での安らぎの場となるのではないのでしょうか。とかく、子供はプレゼントやお年玉を期待しているように見えますが、本当のところはそういうものを通して親子の触れ合い、心の安らぎを要求しているのではないのでしょうか。

さて、これで2学期が終わりましたが、今日の2学期終業式で生徒に以下のような話（抜粋）をしましたのでご紹介します。

今日で令和6年度2学期が終わります。

2学期始業式でお話した通り、2学期の授業時数は82日でした。

始業式で、たくさんの行事がある、一番長い学期だ、という話をしましたが、過ぎてしまうと、あっという間でした。

そう感じているのは私だけではないと思います。

さて明日から冬休みに入ります。

人は、節目、節目で大きく成長すると言われています。

1年間の中に年の変わり目の節目は2回あります。

その1回は新しい年を迎える、年末年始のこの時期です。

そして、もう1回は年度が変わる4月です。

それぞれの節目では、誰もが新たな決意を持つものです。

しかし、それぞれの節目のもつ意味合いは違います。

4月は新しい学年、年度となり、その学年でどのように頑張るか。

勉強面や生活面など日々の自分の取り組みについて考えるものです。

それに対して、新たな年を迎えるこの節目は、自分という人間を見つめ直し、これまでの生き方、そしてこれからの生き方について考える節目になります。

したがって、この冬休みはととても大切な冬休みです。

1・2年生は、この冬休み中に進路学習、キャリア教育に関する課題が出ていると思います。

自分自身の生き方を考える上で将来の夢、職業等についてじっくり考える期間にしてください。

3年生は、目の前に迫った自分の進路に向けてひたすら力を高める時期です。

でも、自分の将来についても考えてください。

そうすれば、より受検勉強を頑張ることができると思います。

中学生で、自分の将来像を具体的に描くことはなかなかできませんが、描けないから考えないのではなく、漠然と「大人になったらどうしよう」と、考えることが大切です。

この冬休みには、家でじっくりと自分の将来のことについて考えてもらいたいと思います。

特に、お正月は、親戚の方など普段あまり話す機会のない方々と会って話をするができるチャンスです。その話の中から自分の生き方、将来のことなどを考えるきっかけになればと思います。

冬休みは14日間と短いですが、短いからこそ、続けられることがあります。

今年も皆様のご支援ご協力により、なんとかここまで乗り切ることができました。誠にありがとうございました。新年、3学期に入りましても、教職員一同、2024年同様、全力で生徒を支援していきますので、どうぞご理解とご協力をよろしくお願い致します。

